

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：指導課

シート No.：46

作成日：2026. 7/3

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅲ学校教育・生涯学習の推進	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 学校教育を充実し、次世代を育てる	・不登校児童生徒の増加は大きな社会問題となっている。このような社会背景に鑑み、不登校の未然防止、早期発見につながる取組を推進していく必要がある。 ・戦争から 80 年が過ぎた今日において、これからの社会を担う世代の生徒たちが、再度、平和について幅広く学び、平和の尊さを学ぶ必要がある。	・学校や不登校の兆候のある児童生徒及び保護者に対して、常総市適応指導教室「かしのきスクール」が積極的にアプローチし、学校復帰、社会的自立に向けた支援を充実させる。 ・「ヒロシマ平和学習プログラム」に参加し、平和に関する学習を通して、若い世代の平和リーダーを育成する。
	施策	1 学校教育		
	施策内容	特色ある教育の推進		
	その他、拠法令及び分野別計画等	じょうそう未来創生プラン、学習指導要領、学校教育指導方針、教育委員会グランドデザイン		
事務事業名		特色ある教育の推進		

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	適応指導教室事業 （R 8・9・10）	適応指導教室内外での支援を充実させ、不登校への早期対応、未然防止を図ります。建物の老朽化による移転改修工事を実施します。	訪問等による支援回数（回）	1 2 5	1 5 0	39,932 千円	千円
					1 5 0		
②	放課後補習教室事業 （R 8・9・10）	市内5小学校と2施設に開室し、児童の学習の支援を行います。	利用人数（人）	1 5 0	1 5 0	8,605 千円	千円
					1 5 0		
③	ヒロシマ平和学習派遣事業 （R 8・9・10）	市内4中学校の代表生徒4名が「ヒロシマ平和学習受入プログラム」に参加します。	平和学習プログラムへの参加希望者数（人）	4	1 0	397 千円	千円
					1 0		
④						千円	千円
⑤						千円	千円
⑥						千円	千円
⑦						千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度
						目標値
①	不登校発生件数の減少	不登校発生件数を抑え、社会的自立を促す取組を進めることは、将来的に自立した人材を数多く輩出することにつながると考える。	1 1 0 人	前年より －10 人		令和9年度
						前年より －10 人
②	ほっとスタディ教室において学習習慣が定着した割合	学習指導要領において主体的に学ぶ児童生徒の育成が掲げられており、本指標は国が求める自ら学ぶ人材の育成につながるものと考ええる。	7 2 %	8 5 %		令和9年度
						9 0 %
③	生徒が平和学習の必要性を認識した割合	生徒が平和学習の必要性を実感し、各学校で派遣事業での学びや気付きを伝えることで、中学生全体の平和への意識を高めることができると考える。		9 0 %		令和9年度
						1 0 0 %

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト	
	☐ 活動	
	☐ 成果	
	☐ その他	